

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	1	
授業科目	エンジン構造学 I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	エンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	総論 内燃機関の分類・4サイクルガソリンエンジン概要 エンジン本体① シリンダ・シリンダブロック エンジン本体② シリンダヘッド・燃焼室・ノッキング エンジン本体③ シリンダヘッドガスケット・ピストン・ピストンピン エンジン本体④ ピストンリング・コンロッド エンジン本体⑤ クランクシャフト・バルブタイミング エンジン本体⑥ バルブタイミング エンジン本体⑦ バルブタイミングまとめ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	2	
授業科目	エンジン構造学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	エンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	エンジン本体⑧ フライホイール・エンジンベアリング エンジン本体⑨ バルブ機構・バルブスプリング 潤滑装置 冷却装置① ラジエータ・ウォーターポンプ 冷却装置② サーモスタット・ファン 燃料装置 吸排気装置・排気ガス浄化装置 2輪エンジン まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	3	
授業科目	エンジン構造学Ⅲ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	エンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	電子制御燃料噴射装置① 概要・OBD・DTC 電子制御燃料噴射装置② 燃料系統 電子制御燃料噴射装置③ 吸気系統・アイドル制御 電子制御燃料噴射装置④ 吸入空気量センサ 電子制御燃料噴射装置⑤ スロットルセンサ 電子制御燃料噴射装置⑥ 回転センサ 電子制御燃料噴射装置⑦ 温度センサ 電子制御装置まとめ① 電子制御装置まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	4	
授業科目	シャシ構造学A I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2	動力伝達装置① 概要・駆動方式・クラッチ
	3. 4	動力伝達装置② クラッチ本体
	5. 6	動力伝達装置③ クラッチ操作機構
	7. 8	動力伝達装置④ クラッチ故障原因
	9. 10	動力伝達装置⑤ トランスミッション
	11. 12	動力伝達装置⑥ マニュアルトランスミッション
	13. 14	動力伝達装置⑦ シンクロメッシュ機構
	15. 16	動力伝達装置⑧ 操作機構
	17. 18	動力伝達装置⑨ プロペラシャフト
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	5	
授業科目	シャシ構造学AⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	動力伝達装置⑩ ファイナルギヤ・ディファレンシャル 動力伝達装置⑪ ディファレンシャル計算・LSD 動力伝達装置⑫ ドライブシャフト・アクスルシャフト アクスル及びサスペンション① 概要・構造機能 アクスル及びサスペンション② シャシスプリング アクスル及びサスペンション③ ショックアブソーバ アクスル及びサスペンション④ 車軸懸架式 アクスル及びサスペンション⑤ 独立懸架式 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	6	
授業科目	シャシ構造学AⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	ホイールアライメント① 概要・構造・機能 ホイールアライメント② キャスタ・キングピン ホイールアライメント③ トー・タイヤの偏摩耗 ホイールアライメント④ 四輪アライメント・サイドスリップ サスペンションの機能 ボディの振動揺動 エアサスペンション① 構成・フロントサスペンション・リヤサスペンション エアサスペンション② エアコンプレッサ エアサスペンション③ 制御式サスペンション まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	7	
授業科目	シャシ構造学B I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	ブレーキ装置① 概要・フットブレーキ・ブレーキペダル ブレーキ装置② ディスクブレーキ ブレーキ装置③ ドラムブレーキ① 作動・種類 ブレーキ装置④ ドラムブレーキ② 構造機能 ブレーキ装置⑤ マスタシリンダ ブレーキ装置⑥ Pバルブ・LSPV ブレーキ装置⑦ 制動倍力装置 ブレーキ装置⑧ パーキングブレーキ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	8	
授業科目	シャシ構造学BⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	ステアリング装置① 概要 ステアリング装置② ステアリングギヤ機構① ステアリング装置③ ステアリングギヤ機構② ホイールタイヤ① ホイール ホイールタイヤ② タイヤ 2輪 概要・動力伝達・クラッチ 2輪 動力伝達① ミッション・チェーン 2輪 動力伝達② サスペンション・ステアリング まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	9	
授業科目	シャシ構造学BⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	ブレーキ概要・エア油圧ブレーキ① 構造 エア油圧ブレーキ② ブレーキバルブ エア油圧ブレーキ③ 制動倍力装置 フルエアブレーキ ABS① 概要 ABS② 作動 TCS 概要 その他ブレーキ 電子制御ブレーキ（EBS）・排気ブレーキ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	10	
授業科目	電装品構造学Ⅰ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	電装品の構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電装品の構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	電気の基礎① 電気回路について 電圧・電流・抵抗 電気の基礎② 回路計算① 直列回路の合成抵抗・電流・電圧降下 電気の基礎③ 回路計算② 並列回路の合成抵抗・電流・電圧降下 電気の基礎④ 回路計算③ スイッチ回路・電圧特性 電気の基礎⑤ 回路計算④ 回路の合成抵抗・電流・電圧降下 電気の基礎⑥ 回路計算⑤ まとめ 半導体 ヒューズ・リレー回路・配線許容電流 磁気の基礎・磁気・磁界及び磁力線・磁束と磁束密度
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	11	
授業科目	電装品構造学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	電装品の構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電装品の構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	バッテリ① 概要 構造・形式・電解液 バッテリ② 起電力・放電・容量 バッテリ③ 始動性能・比重・凍結温度・内部抵抗 バッテリ④ まとめ 始動装置（スタータ）① 概要 構造 始動装置（スタータ）② モータ原理・出力特性 始動装置（スタータ）③ 動力伝達・マグネットスイッチ 始動装置（スタータ）④ 作動 始動装置（スタータ）⑤ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	12	
授業科目	電装品構造学Ⅲ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	電装品の構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電装品の構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 充電装置① 構造・機能 3. 4 充電装置② 交流の発生・三相交流・整流 5. 6 充電装置③ 中性点ダイオード付きオルタネータ 7. 8 充電装置④ ボルテージレギュレータ制御作用 9. 10 充電装置⑤ まとめ 11. 12 点火装置① 概要 構造・機能・点火の基礎 13. 14 点火装置② 気筒別独立点火方式・イグニッションコイル 15. 16 点火装置③ スパーク・プラグ（熱価・着火性能等） 17. 18 点火装置④ まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	13	
授業科目	自動車工学 I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業コマ数	16コマ	
授業概要	自動車に関する工学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する工学を理解できるようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16	SI単位・接頭語 化学（元素記号）・物理の基礎 力・トルクの計算・圧力の計算 速度・加速度・回転数・単位の換算 ネジの用途と種類・ベアリングの種類 測定（スケール・ノギス・マイクロメータ・ダイヤルゲージ・シックネスゲージ） 製図 基礎知識と三面図（第三角法）・断面図・透視図 まとめ（計算問題等の再確認）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	14	
授業科目	自動車工学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業コマ数	16コマ	
授業概要	自動車に関する工学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する工学を理解し、計算できるようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16	排気量・圧縮比の計算・平均ピストンスピードの計算 ギヤ比の計算 ファイナルギヤ・速度・駆動力の計算 ベルトの計算 バルブリフトの計算 油圧の計算（ブレーキ関係含む） 復習① 復習②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	15	
授業科目	基本作業実習 I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	工具の取り扱いと締め付け方法、測定技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	正しく工具を使用できるようになる。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	概要・工具取り扱い 締め付けトルクについて 研削道具の使用方法 スタットボルト等 トラブル解消法 まとめ① 測定基礎① 測定基礎② 測定基礎③ まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	16	
授業科目	基本作業実習Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	自動車の基本的な取り扱い、整備技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の基本的な取り扱い、整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	概要・車両名称・車両取り扱いについて リフト取り扱い・使用前点検 タイヤ取り外し ガレージジャッキについて・使用前点検 ジャッキアップ作業 KYT講習 日常点検① 日常点検② まとめ① まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	17	
授業科目	基本作業実習Ⅲ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	テストの組み立てと電気の測定方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	基礎的な電気の測定技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	概要・配線・はんだ作業 アナログサーキットテスト作成 電気の流れ測定方法・回路構成部品について 電圧の計算・測定 電流の計算・測定 抵抗の計算・測定 測定復習 バッテリー① バッテリー② バッテリーまとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	18	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 A I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	エンジンに関する整備と測定を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンの整備、測定技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	概要・エンジン取り外し エンジン分解 エンジンの仕組み① エンジンの仕組み② 測定 エンジン組み付け① エンジン組み付け②・車両搭載 各種調整 試運転 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	19	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 A II	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	制動装置を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	制動装置が整備できるようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	制動装置① 概要 制動装置② マスタシリンダ分解・点検 制動装置③ マスタシリンダ点検・組み付け 制動装置④ ディスクブレーキ分解・点検・組み付け 制動装置⑤ ドラムブレーキ分解・点検・組み付け 制動装置⑥ ブレーキ液取り換え・エア抜き作業 制動装置⑦ 真空制動倍力装置 パーキングブレーキ まとめ① まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	20	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 A III	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	自動車電気装置の整備について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車電気装置に関する整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	始動装置① 概要 始動装置② 取り外し・分解 始動装置③ 点検・組み付け・取り付け 充電装置① 概要 充電装置② 取り外し・分解 充電装置③ 点検・組み付け・取り付け 点火装置① 概要 点火装置② 取り外し・点検・組み付け まとめ① まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	21	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 B I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	エンジンの分解組み付けを行いエンジンに関する整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンに関する整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	概要・エンジン分解準備 エンジン分解① エンジン分解② 測定作業 エンジンメンテナンス エンジン組み付け① エンジン組み付け② 試運転 まとめ① まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	22	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 B II	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	自動車のシャシに関する整備を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	シャシに関する整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	動力伝達装置① 概要 動力伝達装置② トランスミッション取り外し 動力伝達装置③ クラッチ・トランスミッション取り付け 動力伝達装置④ マニュアルトランスミッション① 動力伝達装置⑤ マニュアルトランスミッション② 動力伝達装置⑥ ディファレンシャル① 動力伝達装置⑦ ディファレンシャル② 動力伝達装置⑧ プロペラシャフト 動力伝達装置⑨ ドライブシャフト まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	23	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 B III	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	車体電装を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	車体電装の構造と測定作業ができる。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	車体電装① 概要 車体電装② 配線・ヒューズ 車体電装③ スイッチ・リレー 車体電装④ 灯火類① 回路・点検・測定 車体電装⑤ 灯火類② 回路・点検・測定 車体電装⑥ 故障診断① 車体電装⑦ 故障診断② 車体電装⑧ ワイパ 車体電装⑨ パワーウインドウ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	24	
授業科目	基礎自動車整備作業実習BⅣ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	法令点検を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	法令点検を的確に実施できるようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	12カ月点検① 概要・日常点検 12カ月点検② エンジンルーム 12カ月点検③ 足回り・下回り 12カ月点検④ 制動装置・舵取り装置 12カ月点検⑤ 灯火類・記録簿 12カ月点検演習① 12カ月点検演習② 12カ月点検演習③ 12カ月点検演習④ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	25	
授業科目	基礎自動車整備作業実習BⅤ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	自動車のシャシに関する整備を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	シャシに関する整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	舵取り装置① 概要 舵取り装置② ステアリングギヤボックス分解 舵取り装置③ ステアリングギヤボックス組み付け 緩衝装置① サスペンション取り外し 緩衝装置② サスペンション分解 緩衝装置③ サスペンション組み付け ホイールアライメント① ホイールアライメント② ホイールアライメント③ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	26	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 B VI	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	自動車の電気回路について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の電気回路を理解し、測定技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	エンジン電子制御① 概要 エンジン電子制御② センサ① エンジン電子制御③ センサ② エンジン電子制御④ アクチュエータ① エンジン電子制御⑤ アクチュエータ② エンジン電子制御⑥ 故障診断① エンジン電子制御⑦ 故障診断② エンジン電子制御⑧ 故障診断③ まとめ① まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	27	
授業科目	エンジン整備法 A	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	エンジンの整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジンの整備方法を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	電子制御装置 復習 燃料噴射制御① 基本噴射時間 燃料噴射制御② 各種補正時間 燃料噴射制御③ 非同期噴射 燃料噴射制御④ 電子制御スロットルバルブ 燃料噴射制御⑤ イグニッションコイル 燃料噴射制御⑦ 点火時期制御 燃料噴射制御⑧ 通電時間制御 燃料噴射制御⑨ まとめ エンジン 効率・燃焼過程
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	28	
授業科目	エンジン整備法B	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	エンジンの整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジン整備方法を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	総論 燃焼過程・吸気過剰率・ジーゼルノック・排気ガス エンジン本体① シリンダ・シリンダヘッド・ピストン エンジン本体② ピストンリング・バルブタイミング・潤滑装置 バルンサ機構・バルブクリアランス自動調整機構・タイミングベルト 燃料装置① 機械式ポンプ概要・予熱装置 燃料装置② コモンレール 概要・サプライポンプ 燃料装置③ コモンレール 制御バルブ 燃料装置④ コモンレール インジェクタ・ECU 排気ガス後処理装置・DPF・尿素SCR・排気装置 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	29	
授業科目	シャシ整備法A	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	シャシの整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの整備方法を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	動力伝達装置⑬ AT① トルクコンバータ 動力伝達装置⑭ AT② 変速機構 動力伝達装置⑮ AT③ 変速の仕組み・各センサ 動力伝達装置⑯ AT④ ECUによる制御・油圧制御機構 動力伝達装置⑰ AT⑤ 変速点キックダウン・1速作動例 動力伝達装置⑱ AT⑥ 2速、3速、4速作動例・リバース作動例 動力伝達装置⑲ AT⑦ N、Pレンジ・ロックアップ機構 動力伝達装置⑳ まとめ 動力伝達装置㉑ CVT 動力伝達装置㉒ インタアクスルディファレンシャル
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	30	
授業科目	シャシ整備法B	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	シャシの整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの整備方法を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	パワーステアリング装置① コーナリングフォースの発生 パワーステアリング装置② 種類・油圧式 パワーステアリング装置③ 電動式 タイヤの特性① たわみ・バランス タイヤの特性② 走行音偏平率・車体への取り付け フレームボディ 2輪車① フレーム・サスペンション 2輪車② ブレーキ・ABS 補助ブレーキ・リターダ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	31	
授業科目	電装品整備法	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	電装品の整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電装品の整備方法を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	半導体・整流回路・スイッチング回路・論理回路 電気装置の配線（CAN）① CAN概要・構造・機能 電気装置の配線（CAN）② 通信方法 シャシ電気装置 メータ・ステップモータ 安全装置① SRSエアバック概要・構造・機能 安全装置② SRSエアバック作動・シートベルト機能 ハイブリッド自動車及び電気自動車① ハイブリッド自動車及び電気自動車② 先進安全装置 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	32	
授業科目	自動車工学Ⅲ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業コマ数	16コマ	
授業概要	自動車に関する工学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する工学を理解し、計算できるようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16	軸重の計算① 乗用車・トラック①（ガソリン分野別工学①） 軸重の計算② 乗用車・トラック②（ガソリン分野別工学②） 軸重の計算③ レッカー車（ディーゼル分野別工学） 自動車の性能 走行抵抗と駆動力 走行性能曲線図 出力・仕事率 分野別問題集① 工学① 分野別問題集② 工学② まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	33	
授業科目	故障診断学エンジン I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	エンジンに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジンに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	分野別問題集① 総論 分野別問題集② エンジン本体① 分野別問題集③ エンジン本体② 分野別問題集④ エンジン本体③ 分野別問題集⑤ エンジン本体④ 分野別問題集⑥ エンジン本体⑤ 分野別問題集⑦ 潤滑装置・冷却装置・吸排気装置 分野別問題集⑨ 電子制御装置① 分野別問題集⑩ 電子制御装置② まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	34	
授業科目	故障診断学エンジンⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	エンジンに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジンに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	分野別問題集① 総論①・総論② 分野別問題集② エンジン本体①・エンジン本体② 分野別問題集③ エンジン本体②・エンジン本体③ 分野別問題集④ 潤滑装置・冷却装置 分野別問題集⑤ 燃料装置① 分野別問題集⑥ 燃料装置② 分野別問題集⑦ 燃料装置③ 分野別問題集⑧ 燃料装置④ 分野別問題集⑨ 吸排気装置 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容		
科目番号	35		
授業科目	故障診断学シャシA I		
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃		
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	一級自動車整備研究学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
授業時間	20時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	シャシに関する整備士試験の演習問題を解く		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	シャシに関する整備士試験内容を理解する		
教科書	実践問題集		
特記			
授業計画	1. 2	分野別問題①	動力伝達装置①クラッチ・トルクコンバータ
	3. 4	分野別問題②	動力伝達装置②速度比・トルク比・伝達効率
	5. 6	分野別問題③	動力伝達装置③自動変速線図・A/T安全装置
	7. 8	分野別問題④	動力伝達装置④ディファレンシャル
	9. 10	分野別問題⑤	サスペンション①ばね特性・ボディの揺動
	11. 12	分野別問題⑥	サスペンション②アクスル及びサスペンション
	13. 14	分野別問題⑦	サスペンション③サスペンションの異音
	15. 16	分野別問題⑧	サスペンション④エア・サスペンション
	17. 18	まとめ①	
	19. 20	まとめ②	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	36	
授業科目	故障診断学シヤシAⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	シヤシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シヤシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1. 2	総合問題A①
	3. 4	総合問題A① 振り返り
	5. 6	総合問題A②
	7. 8	総合問題A② 振り返り
	9. 10	総合問題A③
	11. 12	総合問題A③ 振り返り
	13. 14	総合問題A④
	15. 16	総合問題A④ 振り返り
	17. 18	総合問題A⑤
	19. 20	総合問題A⑤ 振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	37	
授業科目	故障診断学シャシB I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	シャシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1. 2 分野別問題① ステアリング① 3. 4 分野別問題② ステアリング② 5. 6 分野別問題③ ホイールタイヤ 7. 8 分野別問題④ ホイールアライメント 9. 10 分野別問題⑤ ブレーキ① ABS 11. 12 分野別問題⑥ ブレーキ② ABS 13. 14 分野別問題⑦ TCS 15. 16 分野別問題⑧ フレームボディ 17. 18 分野別問題⑨ 2輪 19. 20 分野別問題⑩ まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	38	
授業科目	故障診断学シヤシBⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	シヤシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シヤシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	総合問題B① 総合問題B① 振り返り 総合問題B② 総合問題B② 振り返り 総合問題B③ 総合問題B③ 振り返り 総合問題B④ 総合問題B④ 振り返り 総合問題B⑤ 総合問題B⑤ 振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	39	
授業科目	故障診断学電装品	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	電気装置に関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電気装置に関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	分野別問題① 基礎工学（電気回路） 分野別問題② 電気装置①（半導体・論理回路） 分野別問題③ 電気装置②（電気一般・計器） 分野別問題④ 電気装置③（バッテリー） 分野別問題⑤ 電気装置④（始動装置） 分野別問題⑥ 電気装置⑤（充電装置） 分野別問題⑦ 電気装置⑥（点火装置） 分野別問題⑧ 電気装置⑦（警報装置・冷房装置） 分野別問題⑨ 電気装置⑧（SRSエアバッグ・カーナビ） 分野別問題⑩ 電気装置⑨（CAN通信・外部診断器）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	40	
授業科目	特殊機構	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業コマ数	16コマ	
授業概要	特殊機構の構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	特殊機構の構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16	可変バルブタイミング装置 可変バルブリフト装置 吸排気装置① ターボチャージャ 吸排気装置② スーパチャージャ、インタクーラ 吸排気装置③ 可変吸気装置 LPG・CNG ロータリエンジン まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	41	
授業科目	材料・燃料・油脂	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業コマ数	16コマ	
授業概要	自動車の材料と燃料、油脂に関する内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車の材料と燃料、油脂に関する内容を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	材料① 自動車材料 材料② 自動車の機械要素 材料③ 基礎的な原理・法則 材料④ 分野別練習問題 燃料・油脂① ガソリン燃料及び潤滑剤 燃料・油脂② ジーゼル燃料及び潤滑剤 燃料・油脂③ 潤滑及び潤滑剤 燃料・油脂④ 分野別練習問題① 燃料・油脂⑤ 分野別練習問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	42	
授業科目	自動車検査	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	自動車に関する法律を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	自動車に関する法律を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	自動車構造 自動車装置① 原動機・シャシ① 自動車装置② 原動機・シャシ② 自動車装置③ 原動機・シャシ③ 自動車装置④ 車体 自動車装置⑤ 公害防止関係 自動車装置⑥ 灯火関係① 自動車装置⑦ 灯火関係② 自動車装置⑧ 灯火関係③ 自動車装置⑨ 運転操作
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	43	
授業科目	自動車関係法令	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業コマ数	16コマ	
授業概要	自動車に関する法律を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する法律を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16	概要・道路運送車両法・自動車の種類 登録制度・自動車登録ファイル・自動車登録番号標 保安基準 点検整備制度① 点検整備の義務 点検整備制度② 点検整備記録簿 検査制度① 自動車の検査 検査制度② 自動車検査証の有効期間 認証制度・指定制度
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	44	
授業科目	応用自動車整備作業実習 A I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	2輪整備とトランスミッションについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	2輪車とトランスミッションの構造を理解し、整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	2輪整備① 概要 2輪整備② 車体① 2輪整備③ 車体② 2輪整備④ エンジン① 2輪整備⑤ エンジン② 2輪まとめ AT① 概要 AT② 取り外し AT③ 組み付け まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	45	
授業科目	応用自動車整備作業実習 A II	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	自動車の電気装置について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	デジタルテスタを使用した電気装置の測定と故障診断技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	デジタルテスタ作成 デジタルテスタ測定 デジタル回路① デジタル回路② 車体制御装置① ABS 車体制御装置② TCS 車体制御装置③ 横滑り CAN通信① CAN通信② まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	46	
授業科目	応用自動車整備作業実習 B I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	自動車の電子制御を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	オシロスコープを用いた測定と故障診断技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	電子制御装置① センサ測定 電子制御装置② アクチュエータ測定 電子制御装置③ 故障診断① 電子制御装置④ 故障診断② 電子制御装置⑤ 故障診断③ 電子制御装置⑥ まとめ 車両診断器を活用した故障診断① 車両診断器を活用した故障診断② 車両診断器を活用した故障診断③ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	47	
授業科目	応用自動車整備作業実習 B II	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	動力について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	動力源の仕組みを理解し整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	ジーゼルエンジン① 概要 ジーゼルエンジン② 点検整備① ジーゼルエンジン③ 点検整備② ジーゼルエンジン④ 点検整備③ ジーゼルエンジン⑤ 点検整備④ 電気自動車等の整備① 電気自動車等の整備② 電気自動車等の整備③ まとめ① まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	48	
授業科目	応用自動車整備作業実習BⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	エンジン、トランスミッションの脱着作業、エアコンについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	部品脱着作業、エアコンの整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	車両からのエンジン脱着 概要 車両からのエンジン取り外し① 車両からのエンジン取り外し② 車両にエンジン搭載① 車両にエンジン搭載② 冷却水補充・エンジン始動 エア・コンデショナの取り外し エア・コンデショナの構造確認 エア・コンデショナの取り付け まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	49	
授業科目	自動車検査実習	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	自動車の法令点検を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の法令点検整備と自動車検査技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	12カ月点検 復習 24カ月点検① 概要・室内 24カ月点検② エンジンルーム・足回り・下回り 24カ月点検③ 制動装置・舵取り装置 24カ月点検④ 公害発散防止装置・記録簿 エーミング 自動車検査① サイドスリップ・スピード・ブレーキ 自動車検査② ヘッドライト・排気ガス 自動車検査③ 外観検査・保安基準 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	50	
授業科目	総合自動車整備実習	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	64時間	
授業コマ数	64コマ	
授業概要	自動車整備士の総合的な技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	総合的な自動車整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	概要 測定技術 エンジン整備技術 接客応対 故障診断技術① 故障診断技術② 故障診断技術③ 法令点検技術① エンジンルーム関係 法令点検技術② シヤシ関係① 法令点検技術③ シヤシ関係② まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	51	
授業科目	自動車キャリアデザイン I	
実務家教員授業	授業担当者：	
	—	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	
授業の進め方	様々な業界の方からの講演を聞く	
達成目標	講演、講座、研修を通じて、自身の将来の姿をイメージすることができる	
教科書	レジュメ	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	就職の心構え 自己PR・自己分析 面接試験項目① 面接試験項目② 説明会・選考試験① 説明会・選考試験② 履歴書作成① 履歴書作成② まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	52	
授業科目	自動車キャリアデザインⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：	
	－	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	ビジネスマナーについて学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	基本的なビジネスマナーを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	学校と職場の違い 職場のマナー 仕事の進め方 報告 連絡 相談 挨拶 笑顔 お辞儀① 挨拶 笑顔 お辞儀② 敬語① 敬語② まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	53	
授業科目	自動車キャリアデザインⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：	
	－	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	企業連携研修	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	実務に近い作業が出来るようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	企業連携研修① 企業連携研修② 企業連携研修③ 企業連携研修④ 企業連携研修⑤ 企業連携研修⑥ 企業連携研修⑦ 企業連携研修⑧ 企業連携研修⑨
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	54	
授業科目	消防法	
実務家教員授業	授業担当者：	
	－	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	危険物取り扱いについて学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	危険物取扱者乙種第4類の内容を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	危険物の種類と性質 基礎化学① 基礎化学② 火災予防と消化方法① 火災予防と消化方法② 危険物の法令① 危険物の法令② 危険物の法令③ 危険物の法令④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	55
授業科目	電子制御 I
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	3 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	22時間
授業コマ数	22コマ
授業概要	電気回路と電子回路について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	電気回路と電子回路の基礎とエンジンに用いられるセンサに関する制御、故障診断について理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1・2 電気回路
	3・4 電気回路の故障
	5・6 電気・電子回路の測定技術① サーキットテスタ①
	7・8 電気・電子回路の測定技術② サーキットテスタ②
	9・10 電気・電子回路の測定技術③ サーキットテスタ③
	11・12 電気・電子回路の測定技術④ 分野別問題
	13・14 電気・電子回路の測定技術⑤ オシロスコープ①
	15・16 電気・電子回路の測定技術⑥ オシロスコープ②
	17・18 電気・電子回路の測定技術⑦ 外部診断器
	19・20 電気・電子回路の測定技術⑧ 電源回路
	21・22 電気・電子回路の測定技術⑨ 分野別問題
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	56
授業科目	電子制御Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	3年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	22時間
授業コマ数	22コマ
授業概要	各種センサ、アクチュエータについて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	エンジンに用いられるアクチュエータに関する制御、故障診断について理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1・2 センサ① 論理信号センサ
	3・4 センサ② リニア信号センサ①
	5・6 センサ③ リニア信号センサ②
	7・8 センサ④ 周波数信号センサ
	9・10 センサ⑤ その他のセンサ
	11・12 センサ⑥ 分野別問題
	13・14 アクチュエータ① スイッチング駆動アクチュエータ①
	15・16 アクチュエータ② スイッチング駆動アクチュエータ②
	17・18 アクチュエータ③ リニア駆動アクチュエータ①
	19・20 アクチュエータ④ リニア駆動アクチュエータ②
	21・22 アクチュエータ⑤ 分野別問題
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	57
授業科目	電子制御Ⅲ
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	3年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	22時間
授業コマ数	22コマ
授業概要	電子制御式オートマチックトランスミッションについて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	電子制御式オートマチックトランスミッションに関する制御、故障診断について理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1・2 オートマティクトランスミッション① センサ
	3・4 オートマティクトランスミッション② アクチュエータ①
	5・6 オートマティクトランスミッション③ アクチュエータ②
	7・8 オートマティクトランスミッション④ ECU制御①
	9・10 オートマティクトランスミッション⑤ ECU制御②
	11・12 オートマティクトランスミッション⑥ ECU制御③
	13・14 オートマティクトランスミッション⑦ 高度故障診断技術①
	15・16 オートマティクトランスミッション⑧ 高度故障診断技術②
	17・18 オートマティクトランスミッション⑨ 高度故障診断技術③
	19・20 オートマティクトランスミッション⑩ 分野別問題①
	21・22 オートマティクトランスミッション⑪ 分野別問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	58
授業科目	電子制御Ⅳ
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	3年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	22時間
授業コマ数	22コマ
授業概要	電子制御式パワーステアリングとABSについて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	電子制御式パワーステアリングとABSに関する制御、故障診断について理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1・2 EPS① センサ
	3・4 EPS② アクチュエータ①
	5・6 EPS③ アクチュエータ②
	7・8 EPS④ ECU制御
	9・10 EPS⑤ 高度故障診断技術
	11・12 EPS⑥ 分野別問題
	13・14 ABS① センサ
	15・16 ABS② アクチュエータ
	17・18 ABS③ ECU制御
	19・20 ABS④ 高度故障診断技術
	21・22 ABS⑤ 分野別問題
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	59
授業科目	新技術 I
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	3 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	22時間
授業コマ数	22コマ
授業概要	ハイブリッド自動車とCNG自動車について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	ハイブリッド自動車とCNG自動車について理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1・2 ハイブリッド自動車① 概要・特徴
	3・4 ハイブリッド自動車② ECU・センサ・トランスアクスル
	5・6 ハイブリッド自動車③ 作動・制御
	7・8 ハイブリッド自動車④ 点検・整備①
	9・10 ハイブリッド自動車⑤ 点検・整備②
	11・12 ハイブリッド自動車⑥ 分野別問題
	13・14 CNG自動車① 概要・構造・機能
	15・16 CNG自動車② 構成部品
	17・18 CNG自動車③ 燃料系システム・制御系システム
	19・20 CNG自動車④ 点検・整備・法規
	21・22 CNG自動車⑤ 分野別問題
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	60
授業科目	新技術Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	3年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	22時間
授業コマ数	22コマ
授業概要	筒内噴射式ガソリンエンジンとコモンレール式高圧燃料噴射システム、CVTについて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	コモンレール式高圧燃料噴射システムと車両安定装置に関する制御、故障診断について理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1・2 筒内噴射式ガソリンエンジン① 燃料の燃焼・構造・機能
	3・4 筒内噴射式ガソリンエンジン② 吸気装置・燃料噴射制御
	5・6 筒内噴射式ガソリンエンジン③ 排出ガス浄化対策・点検・整備
	7・8 筒内噴射式ガソリンエンジン④ 分野別問題
	9・10 コモンレール式高圧燃料噴射システム① 構造・機能
	11・12 コモンレール式高圧燃料噴射システム② 噴射制御・点検・整備
	13・14 コモンレール式高圧燃料噴射システム③ 分野別問題
	15・16 CVT① 概要・構造・機能
	17・18 CVT② 装置の制御
	19・20 CVT③ 点検・整備
	21・22 CVT④ 分野別問題
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	61
授業科目	1 級自動車工学 I
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	3 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	22時間
授業コマ数	22コマ
授業概要	電気回路の計算と電気回路の故障診断について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	電気回路の計算と電気回路の故障診断について理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1・2 オームの法則①
	3・4 オームの法則②
	5・6 工学計算① 減速比、変速比
	7・8 工学計算② 車速、駆動力
	9・10 電子回路① 温度センサ信号電圧
	11・12 電子回路② リニア信号線センサ信号電圧
	13・14 電子回路③ 故障探求①
	15・16 電子回路④ 故障探求②
	17・18 分野別問題①
	19・20 分野別問題②
	21・22 分野別問題③
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	62
授業科目	1 級自動車工学Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	3 年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	22時間
授業コマ数	22コマ
授業概要	自動車の振動・騒音について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	自動車の振動・騒音と故障診断について理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1・2 振動騒音① 振動と音・振動の現し方
	3・4 振動騒音② 音の表し方・振動と騒音の防止
	5・6 振動騒音③ 計測機器
	7・8 振動騒音④ 車両各部の振動と騒音の低減対応①
	9・10 振動騒音⑤ 車両各部の振動と騒音の低減対応②
	11・12 振動騒音⑥ 車両各部の振動と騒音の低減対応③
	13・14 振動騒音⑦ 車両各部の振動と騒音の低減対応④
	15・16 振動騒音⑧ 高度故障診断技術①
	17・18 振動騒音⑨ 高度故障診断技術②
	19・20 振動騒音⑩ 分野別問題①
	21・22 振動騒音⑪ 分野別問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	63
授業科目	環境安全
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	3年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	16時間
授業コマ数	16コマ
授業概要	自動車に係る環境問題と安全作業について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	自動車に係る環境問題と安全作業について理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1・2 環境⑤ 整備事業等の固定施設における環境保全
	3・4 環境② 産業廃棄物処理の影響と対応
	5・6 環境③ PRTR法
	7・8 環境④ 整備事業等の固定施設における環境保全
	9・10 安全① 安全管理の意義
	11・12 安全② 火災のあらまし
	13・14 安全③ 災害の防止 職場における防火防災
	15・16 分野別問題①
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	64	
授業科目	図面	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16時間	
授業コマ数	16コマ	
授業概要	3DCADについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	3DCAD製作ソフトウェアの操作方法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1・2	スケッチ練習①
	3・4	スケッチ練習②
	5・6	練習課題①
	7・8	練習課題②
	9・10	練習課題③
	11・12	練習課題④
	13・14	課題作成①
	15・16	課題作成②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	65
授業科目	自動車概論
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	3年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	20時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	電子回路について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	電子回路について理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1・2 2進数について
	3・4 論理回路①
	5・6 論理回路②
	7・8 デジタルIC① NOT回路①
	9・10 デジタルIC② NOT回路②
	11・12 デジタルIC③ 発振回路
	13・14 デジタルIC④ NAND回路
	15・16 デジタルIC⑤ NOR回路
	17・18 オシロスコープによる回路測定
	19・20 課題作成
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	66
授業科目	サービスマネージメントⅠ
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	3年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	職業訓練指導員について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	職業訓練指導員指導員資格の取得
教科書	実践問題集
特記	
授業計画	1・2 職業訓練指導員① 職業訓練原理
	3・4 職業訓練指導員② 教科書指導
	5・6 職業訓練指導員③ 安全衛生
	7・8 職業訓練指導員④ 訓練生の心理
	9・10 職業訓練指導員⑤ 生活指導
	11・12 職業訓練指導員⑥ 関係法令
	13・14 職業訓練指導員⑦ 事例研究
	15・16 職業訓練指導員⑧ 練習問題①
	17・18 職業訓練指導員⑨ 練習問題②
	19・20 職業訓練指導員⑩ 練習問題③
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	67	
授業科目	サービスマネジメントⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	3年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	企業研究及びプレゼンテーションについて学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッション	
達成目標	企業研究及びプレゼンテーション能力の習得	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1・2	企業研究①
	3・4	企業研究②
	5・6	企業研究③
	7・8	パワーポイントの使用方法①
	9・10	パワーポイントの使用方法②
	11・12	プレゼンテーション資料作成①
	13・14	プレゼンテーション資料作成②
	15・16	プレゼンテーション資料作成③
	17・18	プレゼンテーション①
	19・20	プレゼンテーション②
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	68
授業科目	1 級自動車整備作業 I
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	3 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	120時間
授業コマ数	120コマ
授業概要	法令点検を基本とした一般的な自動車整備作業について学ぶ
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	正確で効率的な作業技術の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1～8 整備記録簿に沿った作業内容の確認
	9～32 24か月定期点検整備① 普通乗用車
	33～56 24か月定期点検整備② 貨物車
	57～80 完成検査
	81～84 陸運支局における各種手続きの方法及び検査業務
	85～96 まとめ
	97～108 レポート作成
	109～120 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	69
授業科目	1 級自動車整備作業Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	3 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	120時間
授業コマ数	120コマ
授業概要	自動車部品の構造、分解組立作業について学ぶ
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	正確で効率的な作業技術の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1～8 作業内容に沿ったサービスマニュアルの準備と確認
	9～32 エンジン取り外し・分解・測定
	33～56 エンジン組み立て・取り付け・試運転
	57～80 トランスミッション取り外し・分解・測定
	81～84 トランスミッション組み立て・取り付け・試運転
	85～96 まとめ
	97～108 レポート作成
	109～120 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	70	
授業科目	1 級自動車整備作業Ⅲ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	3 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	120時間	
授業コマ数	120コマ	
授業概要	金属加工技術について学ぶ	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	金属材料の切断や穴あけ、溶接などの技術の習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1～8	概要・思考
	9～32	設計
	33～84	製作
	85～96	まとめ
	97～108	レポート作成
	109～120	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	71	
授業科目	車体整備作業	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	3 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	120時間	
授業コマ数	120コマ	
授業概要	自動車ボデーの補修技術について学ぶ	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	軽微な車両損傷修復技術と塗装作業技術の習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1～8	概要・思考
	9～32	板金作業
	33～84	塗装作業
	85～96	磨き作業
	97～108	レポート作成
	109～120	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	72	
授業科目	評価実習・故障原因探求 I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	3 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	72時間	
授業コマ数	72コマ	
授業概要	電気配線図について学ぶ	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	電気配線図の見方を理解し、電気回路の測定技術と故障原因について理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1～8	電気配線図の読み方及び活用方法
	9～20	電気回路測定
	21～32	故障原因探求
	33～44	故障復旧
	45～48	まとめ
	49～60	レポート作成
	61～72	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	73	
授業科目	評価実習・故障原因探求Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	3年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	72時間	
授業コマ数	72コマ	
授業概要	エンジンの電子制御について学ぶ	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	エンジンに使用されるセンサ、アクチュエータの電氣的測定技術の習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1～8	キャブレータ分解・構造理解
	9～20	電子制御式燃料噴射装置
	21～32	センサ信号電圧測定・アクチュエータ信号電圧測定
	33～44	外部診断器
	45～48	まとめ
	49～60	レポート作成
	61～72	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	74
授業科目	評価実習・故障原因探求Ⅲ
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	3年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	72時間
授業コマ数	72コマ
授業概要	エンジンの電子制御について学ぶ
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	エンジンに使用されるセンサ、アクチュエータの故障診断技術の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1～8 車載故障診断装置
	9～20 センサ信号電圧測定・アクチュエータ信号電圧測定
	21～32 トラブルシューティング
	33～44 ダイアグノーシスコードが発生しない不具合
	45～48 まとめ
	49～60 レポート作成
	61～72 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	75
授業科目	電子制御V
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	4年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	20時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	CAN通信とエンジンの制御について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	CAN通信とエンジンに関する制御、故障診断について理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1・2 CAN通信① 概要・原理・基本構成
	3・4 CAN通信② 通信システム
	5・6 CAN通信③ 信号電圧波形
	7・8 CAN通信④ 異常検知・回路点検・診断
	9・10 CAN通信⑤ 分野別問題
	11・12 ECU制御① ガソリンエンジン
	13・14 ECU制御② ジーゼルエンジン
	15・16 ECU制御③ 分野別問題
	17・18 高度診断技術技術① 警告灯表示・非表示時の点検・整備方法
	19・20 高度診断技術技術② 分野別問題
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	76
授業科目	電子制御VI
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	4年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	20時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	オートエアコンについて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	オートエアコンに関する制御、故障診断について理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1・2 ABS① センサ
	3・4 ABS② アクチュエータ
	5・6 ABS③ ECU
	7・8 ABS④ 高度故障診断技術
	9・10 ABS⑤ 分野別問題
	11・12 オートエアコンディショナ① 構造・機能：点検
	13・14 オートエアコンディショナ② 電源回路・センサ
	15・16 オートエアコンディショナ③ アクチュエータ
	17・18 オートエアコンディショナ④ ECU 高度故障診断技術
	19・20 オートエアコンディショナ⑤ 分野別問題
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	77
授業科目	新技術Ⅲ
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	4年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	20時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	SRSエアバッグとプリテンショナシートベルトについて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	SRSエアバッグとプリテンショナシートベルトについて理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1・2 車両安定制御装置① ABS
	3・4 車両安定制御装置② ブレーキアシストシステム・トラクションコントロール
	5・6 車両安定制御装置③ VCSC
	7・8 車両安定制御装置④ 分野別問題
	9・10 エアバッグ・シートベルト① 構造・機能
	11・12 エアバッグ・シートベルト② エアバッグ
	13・14 エアバッグ・シートベルト③ ロードリミッタ・ELR
	15・16 エアバッグ・シートベルト④ ECU・作動条件
	17・18 エアバッグ・シートベルト⑤ 整備・点検
	19・20 エアバッグ・シートベルト⑥ 廃棄要領 分野別問題
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	78
授業科目	サービスマネージメントⅢ
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	4年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	40コマ
授業概要	自動車の総合知識と高度診断技術について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	自動車の総合知識と高度診断技術について理解する
教科書	実践問題集
特記	
授業計画	1・2 分野別問題①
	3・4 分野別問題②
	5・6 分野別問題③
	7・8 分野別問題④
	9・10 分野別問題⑤
	11・12 分野別問題⑥
	13・14 分野別問題⑦
	15・16 分野別問題⑧
	17・18 分野別問題⑨
	19・20 分野別問題⑩
	21・22 分野別問題⑪
	23・24 分野別問題⑫
	25・26 分野別問題⑬
	27・28 分野別問題⑭
	29・30 分野別問題⑮
	31・32 分野別問題⑯
	33・34 分野別問題⑰
	35・36 分野別問題⑱
	37・38 分野別問題⑲
	39・40 分野別問題⑳
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	79
授業科目	サービスマネージメントⅣ
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	4年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	40コマ
授業概要	自動車の総合知識と高度診断技術について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	自動車の総合知識と高度診断技術について理解する
教科書	実践問題集
特記	
授業計画	1・2 分野別問題①
	3・4 分野別問題②
	5・6 分野別問題③
	7・8 分野別問題④
	9・10 分野別問題⑤
	11・12 分野別問題⑥
	13・14 分野別問題⑦
	15・16 分野別問題⑧
	17・18 分野別問題⑨
	19・20 分野別問題⑩
	21・22 分野別問題⑪
	23・24 分野別問題⑫
	25・26 分野別問題⑬
	27・28 分野別問題⑭
	29・30 分野別問題⑮
	31・32 分野別問題⑯
	33・34 分野別問題⑰
	35・36 分野別問題⑱
	37・38 分野別問題⑲
	39・40 分野別問題⑳
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	80
授業科目	総合診断
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	4年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	20時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	自動車の故障原因探求について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	総合診断を理解し、問診から故障原因推定について理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1・2 応酬話法① 問診・診断
	3・4 応酬話法② 練習問題①
	5・6 応酬話法③ 練習問題②
	7・8 応酬話法④ 練習問題③
	9・10 応酬話法⑤ 練習問題④
	11・12 応酬話法⑥ 練習問題⑤
	13・14 応酬話法⑦ 整備説明
	15・16 応酬話法⑧ 練習問題⑥
	17・18 応酬話法⑨ 練習問題⑦
	19・20 応酬話法⑩ 練習問題⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	81
授業科目	自動車法令Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	4年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	20時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	自動車に関する法令について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	自動車に関する法令について理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1・2 道路運送車両法①
	3・4 道路運送車両法②
	5・6 道路運送車両法③
	7・8 道路運送車両法④
	9・10 保安基準①
	11・12 保安基準②
	13・14 保安基準③
	15・16 保安基準④
	17・18 分野別問題①
	19・20 分野別問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	82
授業科目	評価実習・故障原因探求IV
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	4年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	128時間
授業コマ数	128コマ
授業概要	シャシ関係部品の電子制御について学ぶ
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	シャシ関係に使用されるセンサ、アクチュエータの故障診断技術の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1～8 AT① センサ及びアクチュエータの電圧測定
	9～24 AT② トラブルシューティング
	25～32 EPS① センサ及びアクチュエータの電圧測定
	33～48 EPS② トラブルシューティング
	49～56 ABS① センサ及びアクチュエータの電圧測定
	57～72 ABS② トラブルシューティング
	73～80 オートAC① センサ及びアクチュエータの電圧測定
	81～96 オートAC② トラブルシューティング
	97～114 まとめ
	105～116 レポート作成
	117～128 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	83
授業科目	評価実習・故障原因探求Ⅴ
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究学科
履修年次	4年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	128時間
授業コマ数	128コマ
授業概要	シャシ整備に関する高度整備作業機器について学ぶ
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	四輪アライメントテストの操作方法と振動計の操作方法の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1～12 車高調整式サスペンション
	13～24 4輪アライメントテスト① 測定①
	25～36 サスペンション取り換え・各種調整
	37～48 4輪アライメントテスト② 測定②
	49～60 4輪アライメントテスト③ 調整
	61～96 振動計
	97～114 まとめ
	105～116 レポート作成
	117～128 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	84	
授業科目	評価実習・総合診断	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	4 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	128時間	
授業コマ数	128コマ	
授業概要	エンジン制御について学ぶ	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	エンジン制御用コンピュータを使用し、エンジン制御に関する理解を深める	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1～12	エンジンコントロールユニットの交換
	13～24	空燃比計取り付け・作動確認
	25～36	エンジン出力測定器の取り扱い・測定
	37～48	燃料噴射量の調整・点火時期調整
	49～60	水温補正の調整・加速時増量補正調整
	61～96	各種調整・測定
	97～114	まとめ
	105～116	レポート作成
	117～128	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	85	
授業科目	体験実習	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	4 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	140時間	
授業コマ数	140コマ	
授業概要	企業内活動における実践的な実習体験	
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	企業内活動における実践的な実習体験を通して社会性の習得	
教科書		
特記		
授業計画	1～36	車両メンテナンス
	37～48	入庫・引き渡し
	49～60	新車点検
	61～96	法定点検
	97～140	一般整備
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	86	
授業科目	サービスマネジメント実習 I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	4 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	プレゼンテーション教育	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッション	
達成目標	体験実習を通して得た学習内容のプレゼンテーションを行う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1～10	プレゼンテーション資料作成
	11～16	プレゼンテーション練習
	17～20	プレゼンテーション
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	87	
授業科目	サービスマネージメント実習Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	4年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	技術教育	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	問題作成、後輩指導を通じ技術教育能力を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1～2	回路図確認
	2～3	故障設定
	4～6	トラブルシューティング
	7～20	後輩指導
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	88	
授業科目	パソコン実習	
実務家教員授業	授業担当者：	
	－	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	4年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	E X C E L の使用方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	E X C E L の使用方法を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20 21. 22 23. 24 25. 26 27. 28 29. 30	ワークシート、ブックの作成について セルのデータ管理について① セルのデータ管理について② 数式・関数について① 数式・関数について② 数式・関数について③ 数式・関数について④ グラフの作成① グラフの作成② グラフの作成③ 課題① 課題② 課題③ 課題④ 課題⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	89	
授業科目	卒業前特別講義	
実務家教員授業	授業担当者：	
	－	
学部・学科	一級自動車整備研究学科	
履修年次	4年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	企業連携研修	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	実務に近い作業が出来るようになる	
教科書		
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20 21. 22 23. 24 25. 26 27. 28 29. 30	キャリア講演会① 敬語講座① ビジネスマナー研修① キャリア講演会② キャリア講演会③ 敬語講座② ビジネスマナー研修② キャリア講演会④ キャリア講演会⑤ 敬語講座③ ビジネスマナー研修③ キャリア講演会⑥ キャリア講演会⑦ 敬語講座④ 振返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		